

第14回 JCHOりつりん病院地域協議会 議事録

開催日 令和5年3月16日(木) 15時00分～16時30分

開催場所 JCHOりつりん病院 本館3階会議室

出席者 【院外】

溝口晶仁(高松市医師会)・横井徹(医療機関)・柴田正紀(利用者/患者)

【院内】

大森院長・小西副院長・因藤副院長・田村副院長・日下部事務長
三谷看護部長・田村事務長補佐(総務企画)

欠席者 高本牧男(行政/高松市保健所)

議題 1. 患者動向・経営状況について

2. 報告事項

概況(次年度の体制等)について

積立金の返納について

機器等の整備について

2回目のコロナクラスターについて

3. 話題提供

病院の現地建て替えについて

地域医療構想の中のりつりん病院の在り方について

4. その他 次回以降の開催日について

概要

1. 患者動向・経営状況について (日下部事務長)

(外部委員) 空床補償が無くなってくると思いますが、今後の対策はどう考えていますか。

(内部委員) 患者を元に戻す努力する事につきますと思います。本部でも患者さんが10%は戻らない見方をしているようですので、指導、指摘等が有ると思います。

2. 報告事項(大森院長)

- ・概況（次年度の体制等）について
- ・積立金の返納について
- ・機器等の整備について
- ・2回目のコロナクラスターについて(三谷看護部長)

(外部委員) 第8波で亡くなった患者さんはいますか。

(内部委員) コロナの療養中に亡くなった患者さんはいました。コロナが不利には働いたと思いますが、超高齢の患者さんで急変して亡くなったのをどう取扱いされるのか分かりませんが、直接の死因ではないです。

(外部委員) 医師会の方でも色々なコロナの薬が使えるようになって、救命が出来るようになってきていると話がありましたので。

(内部委員) コロナの薬は、亡くなった患者さんには使っていませんが、当院でも状況に応じて使用しています。

(外部委員) クラスターも早めの対応やリハビリの方が常時N95マスクを装着する等、診療を継続させる事を考えられていて非常に良かったと思います。

(外部委員) 今後、患者数を増やす方策の一つとして、5類になったら昔やっていた病診連携(勉強会)を復活させてはどうですか。医師同士の繋がりができて紹介が増えると思います。

(内部委員) 確かに患者確保にも繋がりますし、コロナが落ち着いたらまた再開したいと思います。あと、新しく更新しようと思っているシンチは、どこでもあるような機器でもないの、アピールできる機会にもなると思います。貴重なご意見ありがとうございます。

3. 話題提供 (大森院長)

病院の現地建て替えについて

地域医療構想の中のりつりん病院の在り方について

(外部委員) 県立中央病院は3次に特化したいと言っていて、患者さんをいつまでも入院させてくれないけど、家にも帰らせられない患者さんはいるので、回復の受け皿として患者確保を狙うのも良いと思います。

(内部委員) 本部からも高度急性期病院からの下り患者を受ける事は言われていて、既に開業医さんも含めて営業等はしています。今は、コロナで充分に出来ていませんが。ただ、脳卒中や骨折もあるので急性期も残しておく必

要がありますし、急性期が無いと若い先生も来てもらえなくなります。

(外部委員) 内科に魅力が必要だと思いますが。

(内部委員) 消化器内科の常勤が居ないのが欠点ですが、大学から非常勤を多く派遣してくれています。再来年には常勤も派遣してくれそうですし、その他、循環器、糖尿病の先生や総合医も居ますので、常勤の消化器内科医の派遣が加われば、もう少し盛り上がると思います。

(外部委員) 病院の統合・再編については難しい部分が有ると思います。病床機能だけではなく、例えば病院の先生は外来を開業医に任せて貰って、専門分野に力を注いで貰い、外来の機能分担を進めて行くのも良いのかなと思います。

4. その他

次回以降の開催日について

9月ぐらいを予定しています。1か月程前にご都合をお聞きしたいと思いますのでよろしくをお願いします。

本日は、貴重な意見ありがとうございました。